

美術館で小旅行



2023 年 4 月 15 日(土)～6 月 18 日(日) 休館日：月曜日(4 月 24 日、5 月 1 日、6 月 12 日は開館)

ルネサンス期イタリアの建築家レオン・バッティスタ・アルベルティは、著書『絵画論』(1435 年)の中で絵画を「開いた窓」に見立てました。アルベルティが論じたのは遠近法についてですが、それに限定せずとも、絵画は別世界への窓として鑑賞者に開かれていると言えるかもしれません。

新潟地域ゆかりの美術を主軸のひとつとする当館のコレクションには、地元作家が異国に取材した作品がいくつか所蔵されています。アジア、アフリカ、ヨーロッパ。今回ご紹介する作品は、私たちをこのささやかな展示室から世界各国へと誘います。今日日しばらく気軽に海外旅行に出かけられない社会情勢が続いていました。所蔵品に描かれた光景や事物を通して彼の地に思いを馳せ、旅行気分をお楽しみください。

作者名	生没年	作品名	制作年	材質/技法
相馬 其一	1885-1966	ベニス風景	不詳	パステル、紙
小野 末	1910-1985	聖堂	1963 年	油彩、カンバス
小野 忠重	1909-1990	時計台 ザゴルスク鐘楼	1976 年	木版、和紙
仲川 猛	1918-2017	ロンダの朝	1990 年	油彩、カンバス
関屋 俊彦	1912-2007	コルドバの馬車	1977 年	油彩、カンバス
笹岡 了一	1907-1987	トレド(スペイン)	1977 年	コンテ・顔彩、紙
笹岡 了一	1907-1987	マカオ ヴァスコ・ダ・ガマ公園	1975 年	コンテ・顔彩、紙
笹岡 了一	1907-1987	マカオの広場	1976 年頃	油彩、カンバス
笹岡 了一	1907-1987	夏の日(マカオ)	1975 年	コンテ・顔彩、紙
吉田 志麻	1939-	青春ジャンボ	2013 年	木版、紙

※すべて当館蔵